

- 研究の中心拠点となるのは大学であるが、近年、日本の大学はランクを落とし、その間、中国の大学が躍進。大学の研究力再生が必要である。

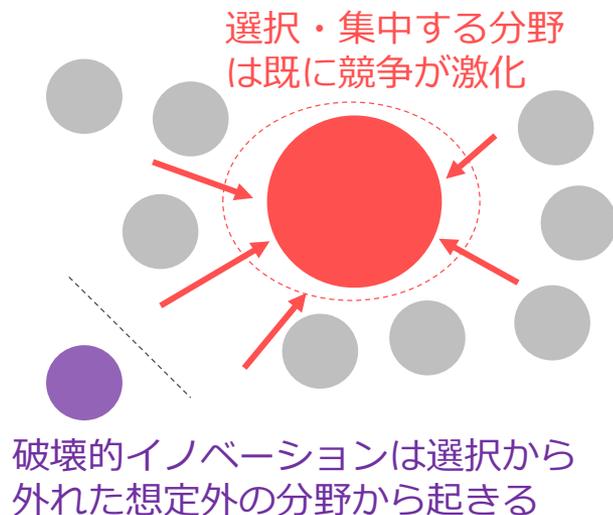
## Times Higher Education 世界大学ランキング（2015～2019）

2015年		2017年		2019年	
	大学名		大学名		大学名
1	カリフォルニア工科大学	1	オクスフォード大学	1	オクスフォード大学
2	ハーバード大学	2	カリフォルニア工科大学	2	ケンブリッジ大学
3	オクスフォード大学	3	スタンフォード大学	3	スタンフォード大学
4	スタンフォード大学	4	ケンブリッジ大学	4	マサチューセッツ工科大学
5	ケンブリッジ工科大学	5	マサチューセッツ工科大学	5	カリフォルニア工科大学
6	マサチューセッツ工科大学	6	ハーバード大学	6	ハーバード大学
	...		...		...
<b>26</b>	<b>東京大学</b>	24	シンガポール国立大学	22	清華大学
42	シンガポール国立大学	29	北京大学	23	シンガポール国立大学
43	北京大学	35	清華大学	31	北京大学
47	清華大学	<b>39</b>	<b>東京大学</b>	<b>42</b>	<b>東京大学</b>
88	京都大学	91	京都大学	65	京都大学
251-	大阪大学	251-	大阪大学	251-	大阪大学

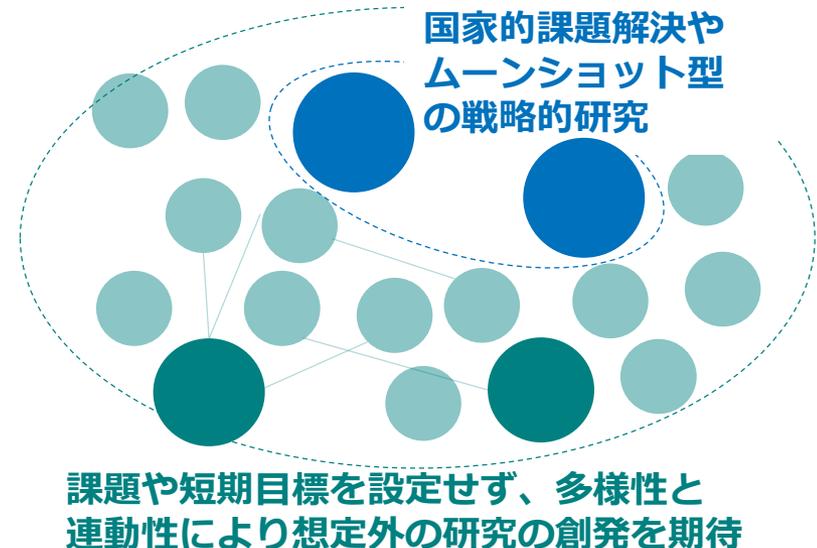
# 「選択と集中」から「戦略と創発」へ

- 社会保障費などシニア層に偏重した財政支出を、日本の未来に向けた研究開発への投資へと大胆にシフトを急ぐべき。
- これまでは、限られた財源から競争力のある研究開発を行うために、重要領域を特定し資源を集中投下する「選択と集中」に基づいた政策が行われてきたが、「戦略と創発」への転換が必要。

## 選択と集中



## 戦略と創発

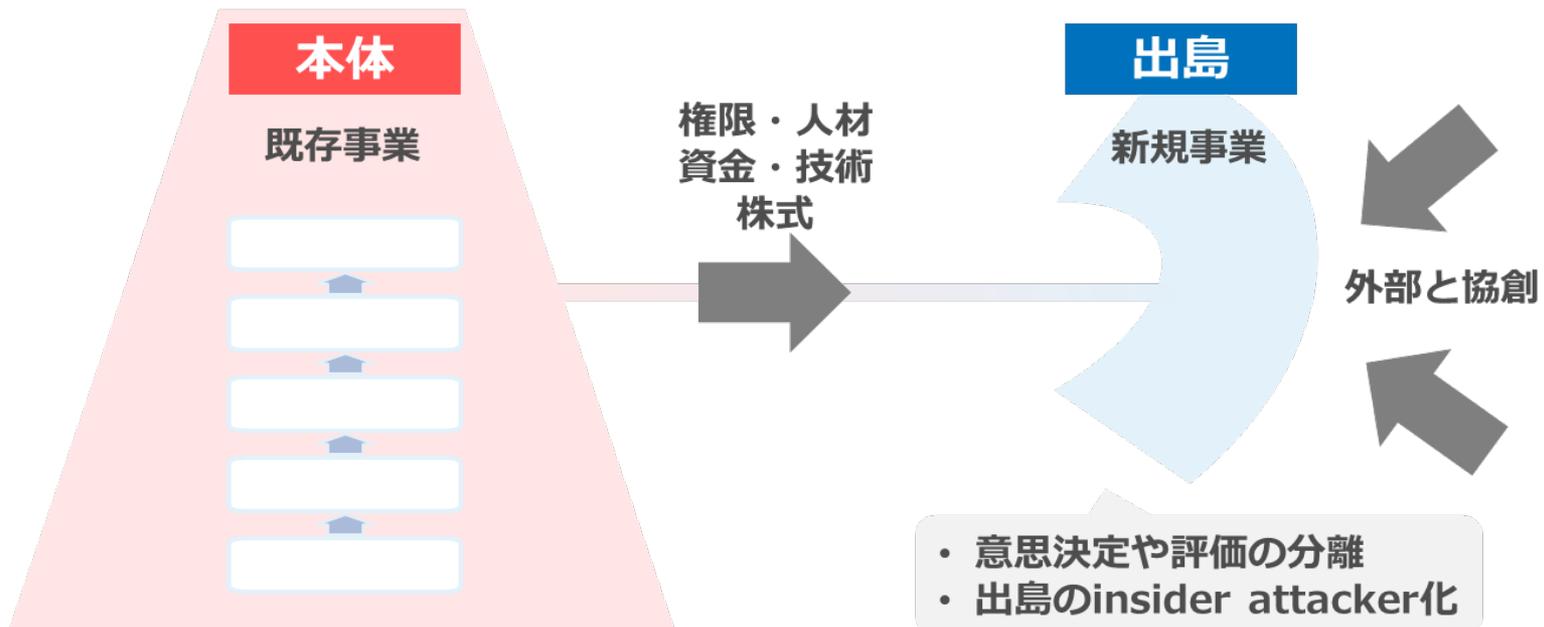


# 大企業による「出島」戦略

- 既存組織がデジタル革新を成し遂げるとともに、新規事業の創出策として、会社本体と意思決定や評価制度を切り離し、物理的にも距離を置いた異質な組織を「出島」のように立ち上げる方が有効。

既存のプロセスなどの  
非イノベーション構造を抱える  
大企業の本体  
での新規事業は困難

本体から独立し、離れた  
「出島」形式の異質な組織で  
自由にイノベーション  
を起こすのが有効



## 東大・京大・北大 × 日立製作所

社会課題解決ビジョンを産官学で創生し、世界へ発信

### Society 5.0 社会課題解決ビジョン

#### 日立東大ラボ

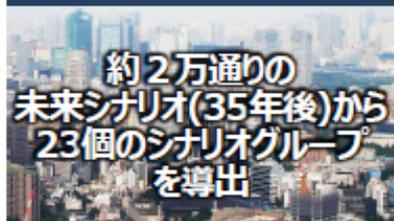


「電力システム」  
エネルギー・フォーラム



「まちづくり」  
ハビタットイノベーションPJ

#### 日立京大ラボ



「AI政策提言」  
未来シナリオの導出

#### 日立北大ラボ



「食と健康」  
北大COIシンポジウム

### 「まちづくり」ハビタット・イノベーション\*

1. “Human Security & Well-being”の向上をめざす未来都市像
2. “Society 5.0”を具体化する課題解決モデル
3. 日立と東大の強みを組み合わせた相乗効果によるビジネスモデル

